



す 舞 る

special support smile 舞 鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀4の1（〒624-0812） ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

～よりよい教育相談を目指して～

猛暑も少しおさまり、朝夕は涼やかな日が増えてきました。2学期が始まり学校にいつもの活気が戻ってきたと思います。今年度も舞鶴支援学校の地域支援センター『トータルサポートセンター（TSC）』の活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

昨年度は教育現場で『書きやすい、わかりやすい、使いやすい』をコンセプトにしたアセスメント票の改訂を行いました。舞鶴市教育委員会のアセスメント票としても活用していただいています。

相談後の様子を教えてください



今年度も教育相談後の様子を電話聴取させていただき、現場のニーズに応じた、役に立つ教育相談になっていたのかを検証していきたいと考えています。相談後おおよそ3か月後を目途に電話をかけさせていただきます。その後、具体的に組み込まれたこと、子どもの変化やエピソードを具体的にお尋ねします。お手数をおかけしますが今後のよりよい教育相談にするために率直な御意見を聴かせてください。

要望があれば継続して教育相談を行っていきます。

いかがでしたか夏季研修講座

今年度初の試みとして北部三特別支援学校共催の特別支援教育夏季研修講座を8月6日に本校を会場に実施しました。昨年度に引き続き『読み書き障害の理解と具体的な指導・支援』として村井敏宏先生に御講演いただきました。参加者は百余名となり、会場はあふれんばかりの状態でした。

子どもたちの学びにくさはどこから来ているのか読み書き障害の特徴を教えてくださいました。その後、平仮名、漢字の誤り分析を講義と演習をとおして学びました。

参加者は就学前機関から高等学校、福祉機関の方々と広範囲に渡りました。現場で子どもたちの指導に向き合っておられる先生方のニーズの強さを感じる研修会でした。

今後も現場のニーズに応え、明日からの指導に役立つ研修会を企画したいと思います。御意見・要望をお寄せください。



『自立活動』～アセスメントの重要性～

新学習指導要領では、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受けている児童生徒（高等学校含む）には『個別の教育支援計画』と『個別の指導計画』の作成と活用が義務づけられました（幼稚園では努力義務）。また、今回の改訂では、「特別支援学級では障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校の『自立活動』を取り入れること。」通級指導教室の指導は『自立活動』の内容を参考に指導すると明示されました。

自立活動とは、個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を行う教育活動です。個々の児童生徒の障害の状態や発達の段階に即した指導を行うことが基本です。障害の状態や発達の段階は個々の児童生徒によって当然違います。自立活動の指導の目標設定をするために最も大切なことは**適切なアセスメント**です。T S Cの改訂

版アセスメント票等を活用いただき、アセスメントをしてみたいかがでしょうか。

ポイントは複数の指導者でのアセスメントです。

実態把握に基づいて得られた指導課題を整理し、指導目標を設定していきます。指導内容を考える際には『自立活動』の6区分、27項目の必要な項目を参考にして整理するとわかりやすいと思います。特別支援学校学習指導要領解説自立活動編を参考にしてください。

子どもたちの困り感に寄り添い、適切なアセスメントを進めましょう。



舞鶴市特別支援教育合同研修会

舞鶴市の特別支援教育合同研修会（舞鶴市教育委員会、舞鶴市健康子ども部子ども総合対策室幼稚園・保育所課、舞鶴支援学校の共催）を行いました。今年度のテーマは「自立活動」です。

6月の第1回は『アセスメント力を高めよう』として発達について学びました。5、6歳の発達の特徴についてT S Cの丸山亜希子地域支援コーディネーターの講義、その後中学校区別分散会で校区の子どもの現状について交流を行いました。

「アセスメントの大切な視点として発達を学ぶ良い機会になった。」「小学校就学までに学習の土台となる力をしっかりつけておかないといけないことがよくわかった。」「幼稚園や保育所でしている実践が小学校の教科学習につながっていることがよくわかった。」「就学前教育の大切さを改めて確認できた。」等、参加者から感想がありました。

分散会では、引き継ぎを複数回丁寧にしている等ステージ間移行の大切さが交流されました。

第2回は11月下旬に予定しています。今年度のテーマ「自立活動」の『実践力を高めよう』として各ステージの取組を報告ができればと計画をしています。自立活動についての理解を深め、取組から学び、各園・校の実践力を高める一助になればと考えています。また、保・幼・小・中・高の顔の見える関係を大切にし、校種間連携の強化につながればと願っています。学びのニーズをお寄せください。

